

平成19年度 小倉子ども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	小倉子ども文化センターの管理運営に関すること 小倉小学校・東小倉小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。 ②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他の子ども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後も子ども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	全職員が利用者とコミュニケーションを図ることによりニーズの把握を実現。また、運営協議会及び子ども会議の定例的な開催、子ども会定例会への積極的な参加、「意見箱」の設置等、地域との更なる信頼関係を蓄積しながらニーズの把握が出来た。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
サービスの提供に関すること	館内を明るくし、親しみのある雰囲気作りに全職員（パートナー含む）で取り組んだ。こぶん祭り、地域交流事業の案内を社協を通じて地域へ回覧することができた。	運営協議会や子ども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。また、1つのクラブ活動を実施し、事業の充実にも努めていた。
事業の実施に関すること	地域の代表である運営協議会と連携し「小倉子ども祭り」を開催した。約600人の参加者を得る。昨年に続きオカリナコンサートをを行い80人の参加者がいた。毎月行なっている幼児対象子育て支援事業は広がりを見せ常時25組ほどの参加がある。	運営協議会等との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。今後も、ボランティアの活用にも努めること。
個人情報の取扱に関すること	鍵のかかる保管庫を確保し、厳重に保管している。また利用者からは事務内容が見えないよう配慮するとともに、個人情報取り扱い要綱を提示している。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。

施設の安全管理に関すること	高足テーブルについては足が折れて倒れないよう結束バンドを用いた。またその切り口にも手足を傷つけないようビニールテープでおおい、怪我の無い様工夫した。幼児室においては読書・勉強時に利用するテーブルは折りたたまれないものを使用している。テーブルの準備・片付けは、必ず職員が行なうこととした。館内の安全点検は毎日必ず実施している。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。また、小倉小学校わくわくプラザにセンサーライトを設置し、より安全性を高めていたことは評価できる。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	<p>延べ利用者数 24,858人 延べ団体利用数 2,330団体 (主な行事等) ぬりえ大会 こども祭り</p> <p>(特色のある行事) オカリナコンサート</p>	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	<p>1 小倉小学校わくわくプラザ 登録者数 284人 延べ利用者数 17,082人 (主な行事等) イラストコンテスト ろうそく作り (アイスクャンドル)</p> <p>(特色のある行事) 中学生体験学習</p> <p>2 東小倉小学校わくわくプラザ 登録者数 191人 延べ利用者数 12,477人 (主な行事等) イラストコンテスト カレーライス昼食</p> <p>(特色のある行事) マフラー作り</p>	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																														
(3) 収支状況																																
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>47,388,299</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>38,344,399</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>2,835,697</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>46,139,930</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>1,248,369</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	47,388,299	支出	人件費	38,344,399		管理費	2,835,697		事務経費	1,937,847		その他経費	1,436,042		青少年事業資産取得支出	909,090		減価償却引当資産取得支出	40,492		第1回精算に伴う返納金	636,363		合計	46,139,930		差引	1,248,369	事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。
収入	指定管理料	47,388,299																														
支出	人件費	38,344,399																														
	管理費	2,835,697																														
	事務経費	1,937,847																														
	その他経費	1,436,042																														
	青少年事業資産取得支出	909,090																														
	減価償却引当資産取得支出	40,492																														
	第1回精算に伴う返納金	636,363																														
	合計	46,139,930																														
	差引	1,248,369																														

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者として子ども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとの子ども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他の子ども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。